



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成16年 2月27日

財団法人 建築試験センター
 中央試験所長 勝野中幸
 埼玉県草加市稲荷1番20号



試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84番9号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：クリホールダウン KHD-40 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅38mm，長さ265mm，厚さ6mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照） 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：Ep-Fe/Zn 5 (JIS H 8610) 及び黒色クロメート皮膜</p> <p>2. 接合具 木ねじ：トラスタピックス7×65，10-φ7.0×65mm（ねじ部の長さ50mm） 谷の径；4.8mm，ねじ山のピッチ；3.175mm ねじ先の形状；とがり先，材質；SWRCH18A (JIS G 3507) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5 (JIS H 8610) 及び黒色クロメート皮膜 アンカーボルト：M16六角ボルト，材質；SS400 (JIS G 3101) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625) 丸座金：外径；φ32mm，厚さ；2.6mm，材質；SPHC (JIS G 3131) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	耐力算定基礎資料：表-2 短期基準接合引張耐力(Pot)：44.2kN 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（ぬ）に定める 15kN用引き寄せ金物×2枚（必要耐力30.0kN） に該当する。
試験期間	平成16年 2月 9日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃
試験場所	中央試験所